

序

『**相関社会科学**』編集委員会

本誌『相関社会科学』は、東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻（相関社会科学コース）が中心になって発刊している学術誌である。学際的・総合的な社会科学研究の創造と進展を目的とし、1990年の創刊から今回で第20号を迎える。

本号の構成はつぎの通りである。

まず本号の中心となる論文5編はいずれも一般公募によるものである。一般公募には15編の応募があった。例年と同じく、全ての論文に関して匿名の複数のレフェリーによる厳正な審査をおこない、この5編が掲載されることとなった。惜しくも掲載に至らなかった論文もふくめ、投稿してくださった方々、レフェリーの方々、そのほか本号の作成にご協力いただいた皆さまに厚く御礼申し上げたい。

巻末には昨年度の企画書評に対する本コース教授の佐藤俊樹氏のリプライ論文1編を掲載した。昨年度の企画書評は、佐藤氏の『意味とシステム』を対象としたものであったが、それに対する応答である。相関社会科学コースの日常的な活動や関心を知っていただく一助になれば、幸いである。